

神宮大麻・暦頒布始祭



栃木県神社庁長
雄琴神社宮司 黒川 正邦

九月十七日は伊勢神宮の大麻暦頒布始祭です。神宮と言えば、大宮司様が代わられたと神社新報に報じられていました。

鷹司尚武様から小松揮世久様へとなりました。小松様は元華族のお家の方で明治初期に伏見宮邦家親王の第八王子、彰仁親王によって創設された小松宮家は輝久王が臣籍降下して小松侯爵家として継承したお家柄の人であります。

その神宮大宮司 小松揮世久様より大麻頒布始祭のご案内があります。各県の庁長・支部長代表者・特別表彰頒布優良者・参事の四名が参列します。前日の宵には大宮司様の招宴があり伊勢湾のピカピカの魚や神宮御料酒の白鷹などが振る舞われ、にぎやかな前夜祭となります。

明けて十七日、朝八時、外宮と内宮特別参拝。早朝の神域は実にはさすがに暑い。黒やダークスーツの集団が約百名づつ四列縦隊で、無言でザック、ザックと参進するのは一般の早朝参拝者には異様に見えるかもしれません。外宮内宮とも統理・総長に合わせ御垣内での二拝二拍手一拝の礼で参拝します。

そろえた拍手の音が神域に響き渡ります。終わりにて神楽殿休憩所で一息。午前十時より殿内で大宮司祭主の大麻暦頒布始祭が執り行われ神社本庁よりの神楽が奉納されます。大麻と暦は大宮司様より

統理へ授けられ次いで全国を東西に分け各県神社庁長へ統理・総長から授与されるのであります。

午後は神宮会館に於て表彰式と頒布推進会議が行われます。

これが神宮での大麻暦頒布始祭であります。この祭典が終ると全国の各神社庁・各支部へ一斉に送られます。これを受けて、神社庁↓支部↓各神社とそれぞれ厳重に大麻暦頒布始祭が執行されて宮司や氏子総代さん等によって各御家庭へ届けられるのです。

この神宮大麻の歴史は、平安時代の終り頃から、神宮と人びとの間を取り持つ御師と呼ばれる人によって配布された御祓大麻が起源と言われています。伊勢に行くことができない遠くの人等にも暦や伊勢土産と一緒にこの御祓大麻が頒布されました。

江戸時代には外宮の御師だけで四百万軒以上、内宮の御師を含めると当時の全戸数の九割が神宮のお札をおまつりしていたと言います。

明治に入ると御師制度は廃止されますが、新たに神宮大麻が神宮司庁で奉製され明治天皇の思召により「全国に天照大神の御神徳を漏るる事無く落つる事無く頒布せられん。」として頒布されます。当初は府県庁を通じて頒布されましたが大正時代までは神宮奉斎会から、昭和に入ると全国神職会を通じて各家庭に届けられ、戦後は神社本庁が神宮司庁より委託を受けて都道府県神社庁各支部各神社を通じて頒布されています。

全国八万の神社は神宮を本宗と仰ぐ神社本庁に包括されています。大麻暦頒布はその本宗奉賛の大きな柱の一つです。

神職・氏子総代さんの使命でもあります。今年も年末になると神職や氏子総代の方が御家庭に神宮大麻と氏神様のお札をお届けにまいります。

新たな御神札を受け、新年を迎え神様の御加護をいただき一年の無事をお祈りいたしましょう。

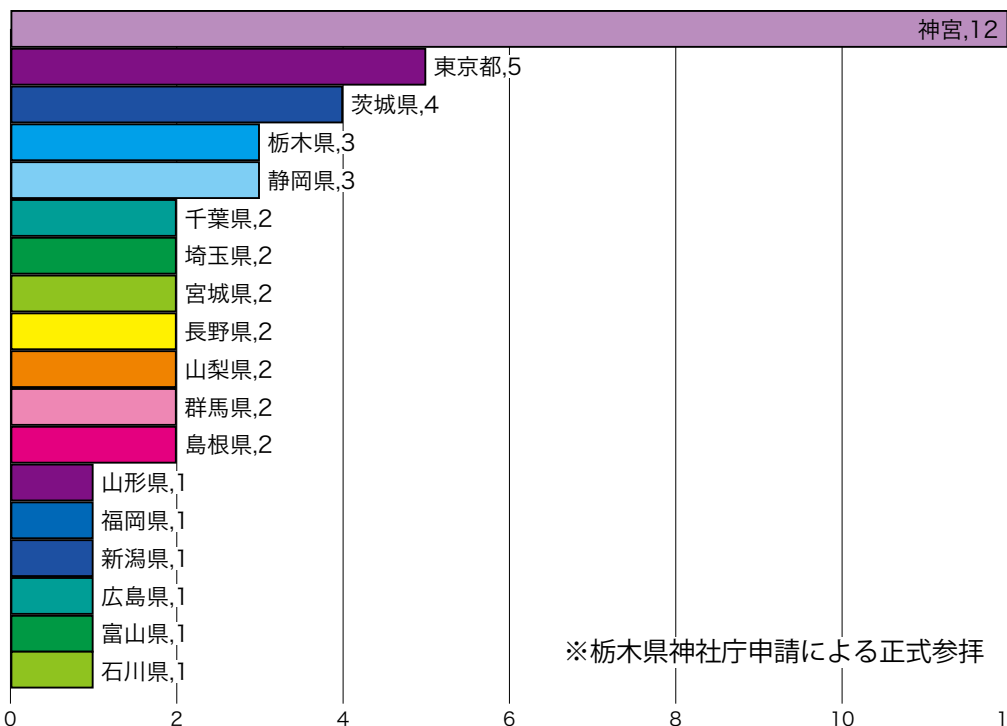
平成二十八年度 各社の正式参拝

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	28	年
7	〃	〃	〃	〃	6	〃	〃	〃	〃	〃	5	〃	〃	〃	4	月
23	24	22	18	17	6	〃	25	23	22	11	8	20	11	5	4	日
神宮（内宮）	神宮（内宮）	北口本宮富士浅間神社 【山梨県】	神宮（内宮）	神宮（外宮）	秋葉山本宮秋葉社 【静岡県】	出雲大社【島根県】	高瀬神社【富山県】	三嶋大社【静岡県】	嚴島神社【広島県】	出雲大社【島根県】	鹿島神宮【茨城県】	古峯神社【栃木県】	宗像大社【福岡県】	鹿島神宮【茨城県】	香取神宮【千葉県】	正式参拝神社
二荒山神社旧神領初詣講	藤管工株式会社	栃木県神社庁北那須支部	高橋栄男・小金幹典	高橋栄男・小金幹典	南那須氏子総代会	古峰神社平第一講中	今宮神社氏子総代会	落合地区氏子総代会	清原地区神社総代会	浅間神社出雲大社の旅	鹿嶋神社総代会	栃木県神社庁	今宮神社月参り講中	下野氏子総代睦会	下野氏子総代睦会	参拝団体名
21	13	35	2	2	240	11	30	20	65	43	25	10	6	60	60	人数

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	28	年
〃	〃	10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9	〃	8	〃	〃	〃	月
5	4	1	27	17	11	9	4	3	31	20	27	〃	〃	26	日
一之宮貫前神社 【群馬県】	榛名神社【群馬県】	宇都宮二荒山神社 【栃木県】	志波彦神社鹽竈神社 【宮城県】	大杉神社【茨城県】	神宮（内宮）	熊野神社【山形県】	神明宮【栃木県】	三峯神社【埼玉県】	明治神宮【東京都】	竹駒神社【宮城県】	神宮（内宮）	諏訪大社上社本宮 【長野県】	武田神社【山梨県】	磐裂根裂管内神社	正式参拝神社
栃木県神社庁下都賀支部	栃木県神社庁下都賀支部	全国氏青協 関東地区連絡協議会	黒磯神社大世話人会	八坂神社総代会	埴田睦会	栃木県神社庁総代会 北那須支部第二支会	栃木県神社 氏子青年連合会	愛宕神社氏子総代会	鷺宮神社氏子総代会	八幡台認定こども園 栃木県神社庁	二荒山神社	磐裂根裂管内神社	磐裂根裂管内神社	磐裂根裂管内神社	参拝団体名
70	70	100	20	25	16	40	40	22	48	30	8	80	80	80	人数

〃	〃	〃	〃	〃	〃	29	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	28	年
〃	〃	3	〃	2	〃	1	〃	11	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	月
27	20	14	20	9	20	19	10	6	30	29	〃	26	22	20	18	〃	16	6	日
安房神社【千葉県】	神田神社【東京都】	諏訪大社上社本宮【長野県】	神宮（内宮）	神宮（内宮）	神宮（内宮）	神宮（内宮）	靖國神社【東京都】	白山比咩神社【石川県】	三峯神社【埼玉県】	神宮（内宮）	神社本庁神殿【東京都】	明治神宮【東京都】	鹿島神宮【茨城県】	神宮（外宮）	彌彦神社【新潟県】	竹駒神社【宮城県】	三嶋大社【静岡県】	東京大神宮【東京都】	正式参拝神社
浅間神社	栃木県神社庁役職員	富屋地区氏子総代会	湧釜神社氏子総代会	芳賀政友会	島田嘉内他一名	栃木県建設業協会烏山支部	加蘇戦歿英霊奉賛会	沼銚神社氏子崇敬者	桑中三峰講	男体山登拝講壬生講	馬頭地区総代会	馬頭地区総代会	加蘇地区神社総代会	長竹治他一名	栃木県神社庁芳賀支部	栃木県神社庁芳賀支部	日枝・熊野神社総代会	朝日森敬神婦人会	参拝団体名
10	17	16	9	7	2	15	22	30	13	25	40	40	20	2	85	85	20	35	人数

都県別 正式参拝件数



国内宗教視察

栃木県神社庁教化委員会、平成二十八年年度国内宗教視察は北陸・富山・石川へ三月二十一日より二泊三日の日程、小幡教化委員長をはじめ十一名の参加により実施されました。

今回の富山の研修においては昨年神社庁で行われた教養研修会にて富山県神社庁の教化委員長にご来県いただき、県内での研修を受け、実際に富山県に赴き神宮大麻の頒布率が全国一、どのような取り組みが行われているかを中心に研修してまいりました。今回の研修では二社に正式参拝をさせていただきました。有磯正八幡宮、高瀬神社では各々一時間程度の研修を行いました。

有磯正八幡宮

正式参拝ののち上田宮司より「神宮大麻の頒布に関して」と題してお話を伺いました。

富山県の現況は世帯数三九〇、七八六件・大麻頒布二一〇、四四〇と群を抜いて全国一であります。この理由についてははっきりとした理由はわからないと前置きしたのち、ここは真宗王国で彫刻や仏具屋さんが多い、農村漁村部での頒布率が高い、神職が互いの氏子地域を尊重している、自然環境が厳しいとのことのお話をいただきました。

有磯正八幡宮では世帯数一〇、五一〇件・大麻頒布五、二二一体で約五十%の頒布率です。

神宮大麻と氏神のお札をセットで頒布、新嘗祭時に頒布始祭を斎行しています。



大麻頒布に関する姿勢は四つの方針がありました。一つ目は「とにかく配る！」の姿勢です。(神宮大麻と簡易神棚)い つ 祈願受付時・地鎮祭・家祓い申し込み電話口・社務所どこで 応対時すべてだれに 家祈祷に行っている家以外すべて(家祈祷(やぎとう)・・富山では毎年神棚が奉齋している家に神職が赴き祈祷をしている)を 大麻と簡易神棚

二つ目は社頭講話です。

高田薬師寺元菅主の言葉を引用し

「近い先祖は仏壇に、遠い先祖は氏神様に」

「神棚に遠い先祖と皇室の御先祖」

三つ目は神宮へのお供えです。

神宮へ、国民斉しく初穂をお供えするその印としてお札（神宮大麻）を受ける。

四つ目は神饌田事業（イセヒカリ）です。

御田植、拔穂祭、しめ縄づくり

神饌田で収穫されたお米は神宮や各社に奉納しています。

特にしめ縄づくりは人気があり、多くの若い家庭が興味を以て参加している。

越中一の宮高瀬神社

正式参拝ののち参集殿に移動して藤井権宮司より富山県神社庁神宮大麻頒布対策委員会のお話を伺いました。

対策委員会は平成二十二年度に設置され六年間の主な施策は次の通りです。

● 具体的には神棚のない家庭に設置を促す方策では

一、地鎮祭等にて簡易神棚の頒布

二、モデルハウスへの神棚陳列

三、頒布率調査

四、建築業者対象の講習会（地鎮祭や神棚奉斎について）

● 神棚へのお参りを定着させる方策では

一、神棚拝詞の作成

二、頒布従事者への手引き作成

● 神社に親しみを持ってもらう方策では

一、「雅 音楽祭」の開催協力

二、神社へ行こう（神社一日体験）の共催

● 神宮大麻を奉斎することの意味を理解し家庭祭祀を継承してもらう方策では

一、神社庁ホームページに神棚のコンテンツを作成

二、神宮大麻奉斎のCMや促進看板の斡旋

三、お正月の迎え方DVD作成

など六か年で様々な事業を展開し二十九年度は教化委員会に引き継がれています。



まとめ

以上のレポートにより

すべての教化事業が神社参拝に繋がると感じました。

- ・新聞記事やTV放送などをうまく利用することは広告費用ととらえればよい。
- ・身近なタウンメールやタウン誌などの活用
- ・頒布従事者に「委嘱状」を交付する取り組み素晴らしいと感じた。
- ・何よりも「とにかく配る！」が意気込みが最後まで印象に残った。
- ・施策は神社庁主導であり本年度より教化委員会に引き継がれた。

上田宮司や藤井権宮司には素晴らしいご講義を受けました。この経験を生かせるよう日々努力するとともに、栃木県神社庁教化委員会としても何らかの方策を打っていけるよう研究を重ねていきたいと思っています。

日枝神社

ご祭神は大山咋神・大己貴神を祀る。富山市のシンボリックな存在です。五月三十日から六月二日に行われる例大祭では約二十万人の人出でにぎわう盛大な祭りであり、歴代藩主佐々成政、富山前田家の崇敬が厚い神社であった。

有磯正八幡宮（正式参拝）

ご祭神は有磯神。

国指定登録有形文化財である本殿幣殿拝殿、北陸特有の気候風土に適し、また日本海の荒波を表現して造営されたといわれる八棟造のご社殿は有磯造と称されている。

越中一の宮 高瀬神社（正式参拝）

北陸諸国の国づくりをなされたご祭神大国主命を祀り、ご鎮座は景行天皇の御代といわれ、太古悠遠である。

尾山神社

加賀藩祖前田利家公と正室お松の方を祀る。

今では金沢市の総社的神社として崇敬され、市民の心の故郷として親しまれている。

尾崎神社

天照大神、東照大権現（徳川家康）、加賀藩三代藩主前田利常を祀る。朱塗りの社殿には徳川家康の紋が散りばめられ、金沢城の江戸、北



日枝神社



尾山神社

陸の日光と呼ばれ崇められた。江戸時代後期から明治時代初期に流行した藩祖を祀った神社のひとつ。別名を金沢東照宮という。

石浦神社

金沢最古の宮として、三輪神社を号し、奈良時代には神仏習合となり石浦山慈光院長谷寺と改め江戸時代には石浦山王、石浦大権現、明治の神仏分離令により石浦郷の地名をとり石浦神社と改称した。

金沢神社

加賀藩十一代藩主前田治脩が寛政六年に、兼六園の現在の梅林の地に藩校明倫堂を建てられ、学問の神であり前田家の先祖でもある菅原道真公の御舍利を奉斎する神社。

加賀一の宮 白山比咩神社

石川県白山市三宮町にある神社。式内社、加賀一の宮。旧社格は国幣中社 全国に二、〇〇〇社以上ある白山神社の総本社である。

安宅住吉神社

石川県小松市安宅町、日本海沿岸に鎮座する。境内に安宅の関址があり、「安宅」「勧進帳」にも取り上げられた伝承から全国でも珍しい、難関突破の神として知られている。

菅生石部神社

石川県加賀市式内社、加賀国二の宮で、旧社格は国幣小社。祭神は「菅生石部神」となっており、これは天津日高日子穗穗出見命、豊玉毘賣命、鵜葺草葺不合命の三柱の総称としている。毎年二月十日の例祭では、「竹わりまつり」の異名を持つ御願神事が行われる。御願

神事は一九八七年に石川県指定無形民俗文化財となる。

射水神社

富山県高岡市の高岡古城公園内にある神社。越中一の宮。旧社格は国幣中社。神紋は祭神の瓊瓊杵尊にちなみ「稻穂」。

(那須烏山市 愛宕神社 宮司 滝口貴史)



白山比咩神社

那須御用邸勤労奉仕

平成十年六月よりご奉仕させていただいております「那須御用邸勤労奉仕」を、六月二十三日に行いました。教化委員会、青年神職むすび会、女子神職会、鹿沼今宮神社青年会、太平山神社敬神会三光会青年部、二荒山神社男体山登拝講社青年部、宇都宮二荒山神社氏子青年会、県内神職、県神社庁事務局、神社関係者総勢三十名にご奉仕させていただきました。

那須御用邸は、約六百三十三万平米（東京ドーム約百三十五個）もの敷地を有しており、皇室の皆様の夏季の御静養の為の別荘です。天皇陛下が御静養される本邸は大正十五年、皇太子殿下が御静養される附属邸は昭和十年に建てられました。

当日は好天に恵まれ、那須の心地よい風を感じながらのご奉仕となりました。附属邸周辺の林道をはじめ、正門までの本邸前庭の除草をさせていただきました。

奉仕作業の後、御用邸職員の案内のもと、邸内の森を散策させていただきました。昭和天皇が植えられた松の木を見学し、本邸三階の展望室からは、今ほど木が大きくなかった頃は、那須岳をはじめ



富士山までも見ることができたとご説明をいただきました。また、かつてテニスコートがあった場所で現在は湿地になっている遊歩道など、陛下がお歩きになられたであろう道を歩かせていただきました。

皇宮護衛官那須御用邸派出所の警察官に見送られ、御用邸を後にいたしました。この様な貴重な体験をさせていただき、ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

(足利市 八雲神社 禰宜 櫻木理史)



御田植祭

五月十六日、栃木県青年神職むすび会と栃木県神社庁教化委員会が共同主催で行う『御田植祭』が執り行われました。県内神職ら約二十五名にて那須烏山市志鳥にある御神田にてイセヒカリの苗を植え、秋に収穫をして伊勢の神宮に奉納します。栃木県青年神職むすび会が始めてから今年で十六年目という永きにわたり恒例となりましたこの行事は、神田主であられる滝口良一様のご協力の下、日本人にとって大事なお米を作る大切さを伝えるための大事なものだと思います。神田前に舗設された斎庭にて神事が斎行され、斎主・祭司員による御田植の儀などが滞りなく行われました。神事後は、参加者により手で直接植える稲の苗の感触を感じながら神田にてお田植が行われました。日本人の主食であるお米、普段当たり前のように食べていますが、食物の恵みとそれを育てて下さる農家さんへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいと思います。むすび会会員・教化



委員会委員が真心を込めて植えた稲穂が、御日様・御土様・御水様の良き恵みを受けて健やかに生育し、たわわに実った稲を刈り取る秋の『抜穂祭』を迎えられることを祈っています。

(佐野市 賀茂別雷神社 禰宜 毛利晴喜)



山の日

八月四日、神社庁教化委員会は八月十一日の国民の祝日「山の日」の啓発と国旗掲揚推進活動を日光二荒山神社中宮祠において行いました。当日は男体山の頂上が美しく見える晴天に恵まれ、辺りは清々しい空気に包まれていました。男体山をすでに登拝し、山頂で御来光を拝み下山してきたり、これから山頂を目指す方々が中宮祠にて参拝し、境内は常に登山の人々が行き交っていました。このような中、我々は、「山の日チラシ入りポケットティッシュ」と「国旗掲揚啓発ステッカー」を配付し、山の日の啓発活動と祝日に国旗を掲揚して頂けるよう呼び掛けました。

「山の日」は「山に親しむ機会を得て、恩恵に感謝する」を趣旨としています。日々の生活と文化に結びついた山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り・育て次世代に引き継ぐことを目的としました。

「山の日」制定にあたり多大な尽力をした本県出身の船村徹先生は、塩谷郡塩谷町出身です。美しい山々の景色を見て育った船村先生は、山からもたらされる恩恵や自然の大切さを幼いころから肌身で感じ



ていたようです。

栃木県には、山間部・平野部共に山岳信仰を由来とする神社が、各地に数多く鎮座しています。古来より、自然豊かな山々から育まれる清き水の流れを、山の神様の恵みとして感謝し敬ってきました。「山の日」制定を機会として、先人が大切にしてきたものを、私たちが責任を持って次世代に伝えて行きたいものです。

(真岡市 長沼八幡宮 禰宜 野澤功嗣)



世界文化遺産

『神宿る島』

宗像・沖ノ島と関連遺産群

栃木県埋蔵文化財センター副主幹
大前 神 社 権 禰 宜 篠原 祐一

平成29年7月9日17時47分（現地時間10時47分）、ポーランドのクラクフで開催されたユネスコ（国際教育科学文化機構）の第41回世界遺産委員会で、議長が叩く木槌の音の後、資産名『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を世界文化遺産一覧表へ記載されることが宣言されました。

これは、神道文化が単独で世界遺産として、認められた瞬間でもありました。

構成資産は、5月にイコモス（国際記念物遺跡会議）が勧告した沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩の4資産だけではなく、日本政府の申請した宗像大

社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を加えた八つの構成資産の満額回答でした。これは、前日の会議が長引き、8日の最終議題であった「宗像沖ノ島」が、翌日に持ち越された為、関係者がロビー



宗像沖ノ島全景（平成22年撮影）

外交を更に推し進めた結果でもあるのです。福岡県の世界遺産登録推進室宗像沖ノ島遺産係の担当者によると「直前までわからないとした状況が伝わってきます。

世界遺産登録に至る道のりは、長い時間を要しました。組織づくり、学術的な検証、世界へ向けての発信など、さまざまな取り組みの中で、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の名称に、より性格を強調した『神宿る島』が付加されました。

ユネスコへ申請した資産の概要は次の通りです。

一 沖ノ島には4世紀から9

世紀わたる古代祭祀の変遷を示す考古遺跡が、ほぼ手つかずの状態です。現代まで残されてきたこと。

二 沖津宮・中津宮・辺津宮には古代祭祀遺跡があり、この三つの場合は、宗像大社という信仰の場として現在まで続くこと。

三 18世紀までに成立した沖津宮遙拝所は、沖ノ島を遥拝する信仰拠点であること。

四 当該信仰を担い育んだ古代豪族宗像氏の存在を物語る新原・奴山古墳群の資産があること。

我が国固有の信仰は、綿々と続く物語を有すると訴えています。

宗像大社は三柱の女神をおまつりしています。『古事記』『日本書紀』に差異はありますが、天誓約で天照大神が素戔嗚尊から受けた十握剣を三段に折り、囃んだ息

（註）これまで「古都京都の文化財」の中の賀茂別雷神社・賀茂御祖神社・厳島神社、古都奈良の文化財（春日大社）、日光の社（荒山神社・東照宮、紀伊山地の霊場と参詣道（吉野水分神社・金峰神社・吉水神社・熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・丹生都比売神社・丹生官省符神社、富士山（富士山本浅間大社・山宮浅間神社・村山浅間神社・須山浅間神社・富士浅間神社・河口浅間神社・富士御室浅間神社）がありますが、古代祭祀からの神道文化遺産認定としては画期的です。

吹の中から田心姫・湍津姫・市杵嶋姫の三女神が誕生します。天照大神は三女神に「天孫を助け奉り、天孫の祭るところと為せ」と神勅を下され、「道主貴」と名づけるがあります。現在、田心姫は沖津宮、湍津姫は中津宮、市杵嶋姫は辺津宮に鎮座されています。

江戸時代、沖津宮のある宗像沖ノ島へは、福岡黒田藩の防人が置かれ、鎖国政策の一端を担いました。その際、島で見聞きしたことは一切口外しない「お言わずさま」や、一木一草一石たりとも持ち出してはならない、忌言葉を口にしてはならないなど、厳しく定められていました。また、島に入るにあたっては、浜辺の小屋に留まり七日間裸で海中裸ぎを行い、八日目に身を改め、御殿・正三位社等に御膳を奉り参詣となりました。

福岡城主となった黒田長政（勘

（註二）当時は古い感じのする社務所でしたが、平成22年に渡拝した折は、現代的な環境で参籠の出来る社務所となっていました。

（註三）過日渡拝した際、撤去を確認しました。

兵衛）は、沖ノ島の話の聞くや神宝を見たいと強く望みます。神職や地元民は神威を恐れて動きません。そこで、当時、博多にあったキリスト教会に命じ、金の機物などを取って来させます。城の櫓に保管して居たところ、しきりに鳴動し、光物が飛ぶなどが起こり、慌ててキリスト教徒に元へ戻すよう命じます。しかし、当人達にも祟りがあつたと見え拒絶されます。結局、神職が渡拝し合に埋め、子孫にもその場所は教えなかったと伝えられています。

今日では、様々な形で島内の映像が公にされ、「お言わずさま」の禁は解けたようなので、秘儀の島について語りましょう。

初めて宗像沖ノ島に渡拝したのは平成8年の正式参拝でした。まず驚いたのは波止場の風景です。猛スピードで波間を滑走する漁船に囲まれながら、2時間かけて、漸く辿り着いた孤高の島は、屹立し御稜威を放っていました。しかし、波止場に近づくにつれ、鈴なりとなって竿を出す釣り人の姿が飛び込んできました。沖ノ島は宗像大社の所有地ですが、港は国際緊急避難港となっています。そのため、島の地面に上陸しなければ可ということ。神職が只一人お守りする神秘の島の入口は、喧噪に満ちていました。今後は、確信犯の不心得者が禁を犯すと予想され、一般の上陸全面禁止の措置は英断と言えましょう。

初めて宗像沖ノ島に渡拝したのは平成8年の正式参拝でした。まずは波止場の風景です。猛スピードで波間を滑走する漁船に囲まれながら、2時間かけて、海中裸ぎ後、御利用になったセメ

波止場に着岸すると神職が出迎え、社務所に通されます。その後、島で唯一の砂浜に向かい、全員裸になって海中裸ぎを行います。裸ぎのあとは、浜とそそり立つ岩との間にある、これもまた島で唯一の泉で海水を洗い流します。以前は、そこに三笠宮殿下渡拝の折、海中裸ぎ後、御利用になったセメ



海中裸ぎの様子（平成8年撮影）

ントの小屋がしつらえてありました。服を着て水平方向に板が重なるような頁岩の岩壁に沿って斜めに上がる参道を登り、石鳥居を潜るといよいよ沖ノ島に入ります。江戸時代はこの付近に正三位社があり、ここからが神域と認識されていました。浜辺から運んだ石を並べて造られた階段を登ると木の鳥居があり、そこから先は、いよいよ沖ノ島祭祀の核心部へ足を踏み入れることになります。

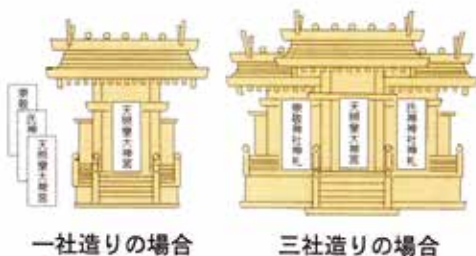
（以下次号「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議専門家会議委託研究員）

神棚のまつり方

（神棚の設け方）

家の概ね中心で、明るく清らかな所に、南向きまたは東向きで、高い位置で尚かつ家族みんなが毎日拝みやすい所が最も良い場所と言えますが、そうした場所におまつりできない場合には、最良と思われる場所におまつりしましょう。

また、新たに神棚を設ける場合には、宮形を据え、神職にお祓いをしていただき、それから神棚にお札をおさめます。



お米・お酒・塩・水を一台に供える例



お米・塩・水を一台に供える例

（御神札のまつり方）

三社造りの場合は、中央に神宮大麻、向かって右側に氏神様、左側に他の神社の御神札をおまつりします。

一社造りの場合は、奥より他の神社、氏神様、一番表に神宮大麻をおまつりします。

また、御神札の前には幣束をお供えします。

（神饌）

神饌は毎朝、米・塩・水を三方または折敷（とじめを手前に向ける）にのせてお供えします。

毎月一日・十五日や、氏神様の祭日、その他一家の記念すべき日には、御神酒・野菜・果物

等もお供えしましょう。

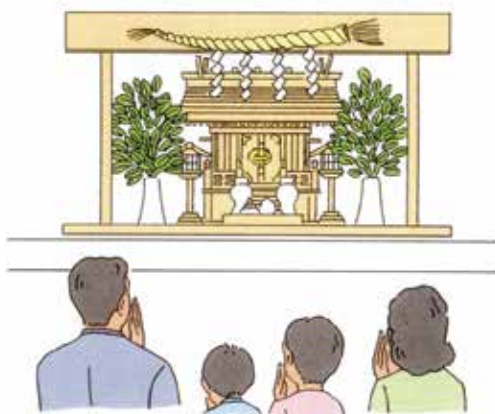
また、季節の初物も、お供えた後、おさがりとして、家族一同でいただくようにしましょう（お参りの仕方）

神饌をお供えして、神社にお参りするときと同じく、二拝二拍手一拝にてお参りします。

朝・夕には感謝をこめてお参りしましょう。

尚、お稲荷さん・水神さま（井戸）・竈神さま（勝手）・廁神さま（お手洗い）等にも幣束をお供えし日々のご加護を祈りましょう。

その他不明なところは地元の氏神神社の神職にご相談下さい。



● 神宮大麻 ●

伊勢の神宮は、三重県伊勢市に鎮座しています。正式には「神宮」といい、親しみを込めて「お伊勢さん」とも呼ばれています。神宮は、皇室の祖先神である天照大神をおまつりする皇大神宮（内宮）と、その大神の食事を司り、衣食住をはじめ私たちの産業すべてをお守りくださる豊受大神をおまつりしている豊受大神宮（外宮）を中心に、別宮・摂社・末社・所管社を含め百二十五のお宮から成っています。

神宮大麻は、伊勢神宮のお神札のことで、「お伊勢さん」「お祓いさん」などとも呼ばれてきました。

お神札には、「天照皇大神宮」の神号に神璽が押され、毎年奉製され、氏神さまを通じて各家庭に頒布されています。

喪中の時の正しい 神棚のまつり方

同居していた人に不幸があった場合には、喪に服し故人のまつり（忌）に専念するため神棚に白紙を貼り、五十日あるいは四十九日までの間は毎日のおまつりはひかえます。

そして、四十九日あるいは五十日たったら忌み明けとして、ただちに白紙をはがして、御神札・御幣束をおまつりし、普段通りのおまつりを斎行するようにしましょう。忌の期間が正月をはさむ場合は、忌が明けてから氏神さまから御神札を受け、神棚におまつりしましょう。

五十日祭や四十九日供養が過ぎてもおまつりしないまま、一年中神棚を放っておくことが絶対にならないようにくれぐれも注意

し、一日もはやく日常の生活に復帰出来るように心掛けましょう。

尚、服忌及び服忌の期間について次に記しておきますので参考にしてください。

服忌とは

「服」とは喪服を着る事つまり喪に服する事、「忌」は人の死を畏れ忌む事を意味します。ご家族が亡くなった時、一定の期間、身を慎みます。

この期間中を「服忌」「忌服」と言い、神社への参加、お祝い事等を遠慮するのが一般的です。立場上やむなく参加の場合は、忌明けのお祓いを神社で受けて下さい。

その期間は、ご自身と、亡く

なった方との血縁がどうであつたかによって、変わります。地域の習慣によって異なる場合がございますので、地元の神主さんに聞いて下さい。

一、父母、夫、妻、子…五十日
二、祖父母、孫、兄弟姉妹…三十日

三、曾祖父母、曾孫、甥姪、伯叔父母…十日

四、高祖父母、玄孫、兄弟姉妹の孫、従兄弟、従祖父母…三日

五、配偶者の親族については一
項ずつ繰り下げた日数による。

お正月は どうするの？

亡くなってから五十日以上を経過している場合等は、通常通り門松、しめ飾りをお飾りして下さい。

また、新年の新しいお札をお受け下さい。



じんぐうたいま 神宮大麻をおまつりしましょう

